入、火の用心もあしく候、万事に損なるものニ候事

一年貢を出し候義、反別にかけてハ壱反ニ付何ほと、高にかけてハ壱石に何ほど割付、差紙地頭代官よりも出し候、左候へバ耕作に精をいれ、よく作り、取実多くこれ有れバ其身乃徳に候、悪候へハ人しらす身上のひけに候事

一御年貢皆済の砌、米五升六升壱斗につまり、何とも仕るへきやうこれなき時、郷中をかりあるき候へとも、皆済時分たがひに米これなきよし、かさゞるによつて、米五升壱斗に子供又ハ牛馬もうられす、農道具・きる物杯売らんとおもへハ、金子壱分にて仕立候を